富山大学教育学部附属小学校教育研究発表会
2022／06／10

GIGA時代における
子供が学び続ける環境づくり
～ICT環境に関わる取り組み～

富山大学教育学部附属小学校　　情報部

１　本校のICT環境と取り組み
～校務と学級経営に着目して～

２　GIGA時代における子供が学び続ける環境づくり～社会科の実践より～

３　これからの授業を考える
これまでの授業×ICT＝これからの授業

ICT環境・端末が文房具と同様になるための視点

① チーム学校

～共同研究と教員のICTスキルの向上～

×

② 日常的な活用

×

③ 学習者のICTスキル

×

④ 授業におけるICTの活用

×

⑤ デジタル・シティズンシップ教育

クラウド活用が前提

①チーム学校～共同研究～

【基盤】共同研究…教科等の本質に迫る授業提案

- 教科等の本質の理解（教科等の見方・考え方）
- 単元の本質の理解
- 教材の深い理解
- 児童理解（見取り）
- 授業設計や学習過程、学習評価の理解
- 教師の役割の理解

ねらい達成のために、ICTの活用は前提

①チーム学校～教員のICTスキルの向上～

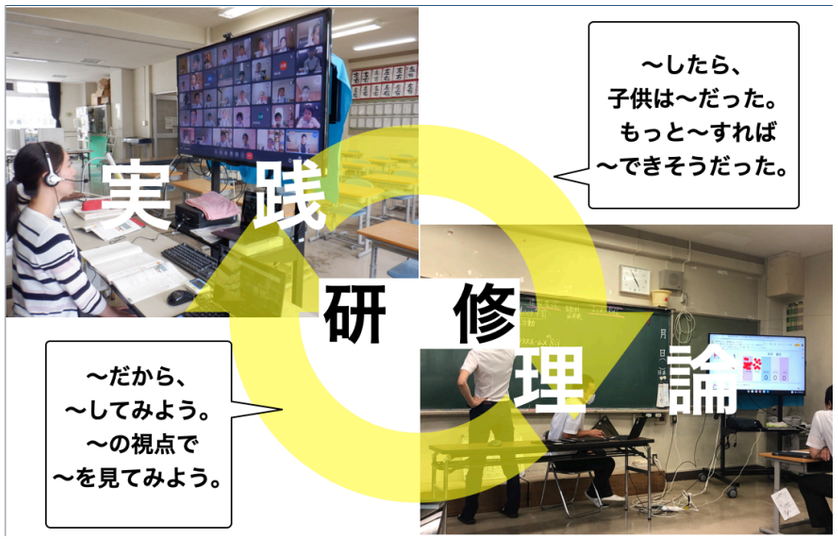
・校内研修～全体研修×自主研修～（短時間）

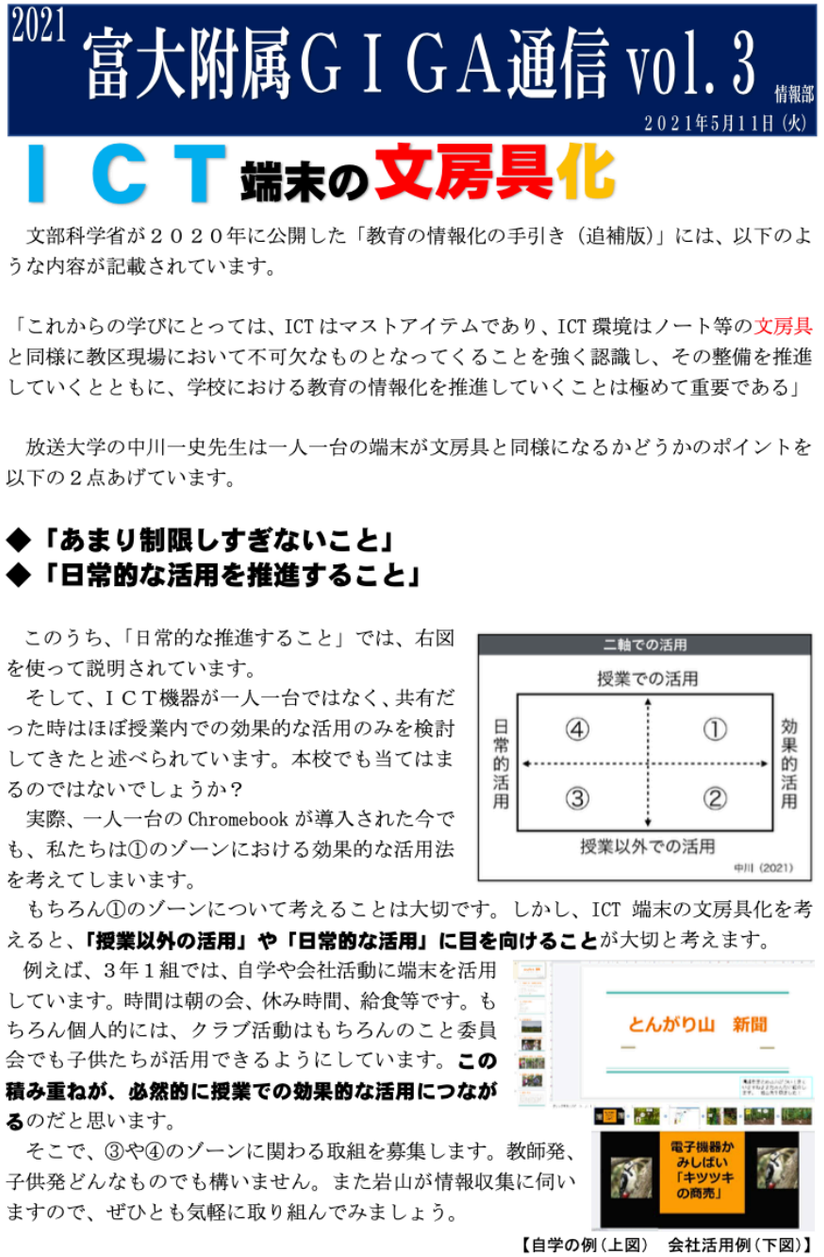
★情報共有（紙×データ）

★職員会議をペーパーレス化

★連絡帳、学級便り、学校からの
　連絡物等をデータ化しクラウドへ

・ICT支援員との連携（学園）





2021 富大附属ＧＩＧＡ通信 vol.3 情報部
2021年5月11日（火）

ＩＣＴ端末の文房具化

文部科学省が２０２０年に公開した「教育の情報化の手引き（追補版）」には、以下のような内容が記載されています。

「これからの学びにとっては、ICT はマストアイテムであり、ICT 環境はノート等の文房具と同様に教区現場において不可欠なものとなってくることを強く認識し、その整備を推進していくとともに、学校における教育の情報化を推進していくことは極めて重要である」

放送大学の中川一史先生は一人一台の端末が文房具と同様になるかどうかのポイントを以下の２点あげています。

◆「あまり制限しすぎないこと」
◆「日常的な活用を推進すること」

このうち、「日常的な推進すること」では、右図を使って説明されています。

そして、ＩＣＴ機器が一人一台ではなく、共有だった時はほぼ授業内での効果的な活用のみを検討してきたと述べられています。本校でも当てはまるのではないでしょうか？

実際、一人一台の Chromebook が導入された今でも、私たちは①のゾーンにおける効果的な活用法を考えてしまいます。

もちろん①のゾーンについて考えることは大切です。しかし、ICT 端末の文房具化を考えると、**「授業以外の活用」や「日常的な活用」に目を向けること**が大切と考えます。

例えば、３年１組では、自学や会社活動に端末を活用しています。時間は朝の会、休み時間、給食等です。もちろん個人的には、クラブ活動はもちろんのこと委員会でも子供たちが活用できるようにしています。**この積み重ねが、必然的に授業での効果的な活用につながる**のだと思います。

そこで、③や④のゾーンに関わる取組を募集します。教師発、子供発どんなものでも構いません。また岩山が情報収集に伺いますので、ぜひとも気軽に取り組んでみましょう。

【自学の例（上図）　会社活用例（下図）】

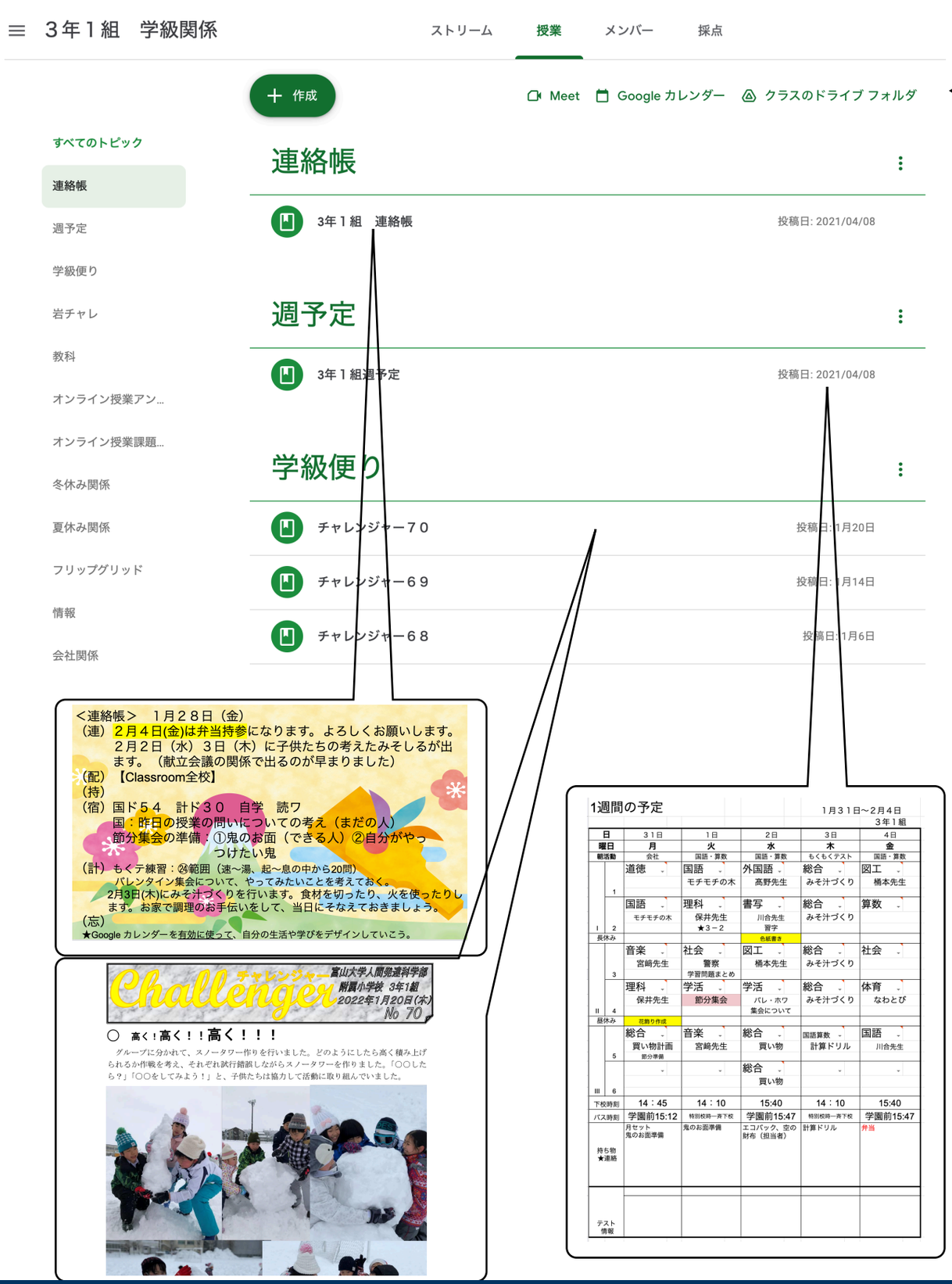
【情報部より便りの発行（不定期）】

教員が慣れる環境づくり

クラスや校務に関するフォルダ例

３年１組　学級関係

クラス内のフォルダ例


３年１組　学級関係
ストリーム
授業
メンバー
採点
作成
Meet
Google カレンダー
クラスのドライブ フォルダ
すべてのトピック
連絡帳
週予定
学級便り
岩チャレ
教科
オンライン授業アン...
オンライン授業課題...
冬休み関係
夏休み関係
フリップグリッド
情報
会社関係
連絡帳
3年１組　連絡帳
投稿日: 2021/04/08
週予定
3年１組週予定
投稿日: 2021/04/08
学級便り
チャレンジャー７０
投稿日:1月20日
チャレンジャー６９
投稿日:1月14日
チャレンジャー６８
投稿日:1月6日

＜連絡帳＞　１月２８日（金）
（連）２月４日(金)は弁当持参になります。よろしくお願いします。
２月２日（水）３日（木）に子供たちの考えたみそしるが出ます。（献立会議の関係で出るのが早まりました）
（配）【Classroom全校】
（持）
（宿）国ド５４　計ド３０　自学　読ワ
国：昨日の授業の問いについての考え（まだの人）
節分集会の準備：①鬼のお面（できる人）②自分がやっつけたい鬼
（計）もくテ練習：㉔範囲（速～湯、起～息の中から20問）
バレンタイン集会について、やってみたいことを考えておく。
2月3日(木)にみそ汁づくりを行います。食材を切ったり、火を使ったりします。お家で調理のお手伝いをして、当日にそなえておきましょう。
（忘）
★Google カレンダーを有効に使って、自分の生活や学びをデザインしていこう。

Challenger
チャレンジャー
富山大学人間発達科学部
附属小学校 3年1組
2022年1月20日(木)
No 70
○ 高く！！高く！！！
グループに分かれて、スノータワー作りを行いました。どのようにしたら高く積み上げられるか作戦を考え、それぞれ試行錯誤しながらスノータワーを作りました。「○○したら？」「○○をしてみよう！」と、子供たちは協力して活動に取り組んでいました。

1週間の予定
1月31日～2月4日
3年１組
日
曜日
朝活動
1
2
長休み
3
4
昼休み
5
6
下校時刻
バス時刻
持ち物
★連絡
テスト
情報
31日
月
会社
道徳
国語
モチモチの木
音楽
宮崎先生
理科
保井先生
総合
買い物計画
節分準備
14：45
学園前15:12
月セット
鬼のお面準備
1日
火
国語・算数
国語
モチモチの木
理科
保井先生
★3－2
社会
警察
学習問題まとめ
学活
節分集会
音楽
宮崎先生
14：10
特別校時→弁下校
鬼のお面準備
2日
水
国語・算数
外国語
高野先生
書写
川合先生
習字
色紙書き
図工
橋本先生
学活
バレ・ホワ
集会について
総合
買い物
15:40
学園前15:47
エコバック、空の財布（担当者）
3日
木
もくもくテスト
総合
みそ汁づくり
総合
みそ汁づくり
総合
みそ汁づくり
総合
みそ汁づくり
国語算数
計算ドリル
14：10
特別校時→弁下校
計算ドリル
4日
金
国語・算数
図工
橋本先生
算数
社会
体育
なわとび
国語
川合先生
15:40
学園前15:47
弁当

マイドライブ > Classroom > ３年１組
フォルダ
名前
１　わたしの研究（みんな...
２　国語
３　算数
４　社会
５　理科
６　音楽
７　体育
８　図画工作科
９　外国語
１０　道徳
１１　総合
１２　学活
なかよし合宿
夏休み関係
会社（データ共有は先生に...
共通
思考ツール
冬休み関係
練習
マイドライブ > Classroom > ３年１組 > ４　社会
フォルダ
名前
１　附属小のある五福・五...
２　わたしたちの富山市
３　はたらく人とわたした...
４　くらしを守る
フォルダ
名前
①買い物調べ
②ふり返りシート
③個人
④荻布さんからの資料
⑤見学の様子（資料）
⑥店内外の様子写真（資料...
⑦板書
⑧まとめ
商品発注にかんする荻布さ...
南日さんのみそ作り
ファイル
３年１組社会科見学につい...
コンビニの取り組み（廃棄...
学習計画を立てよう
附属っ子　学習の技　児童用

保護者に関わるフォルダ例

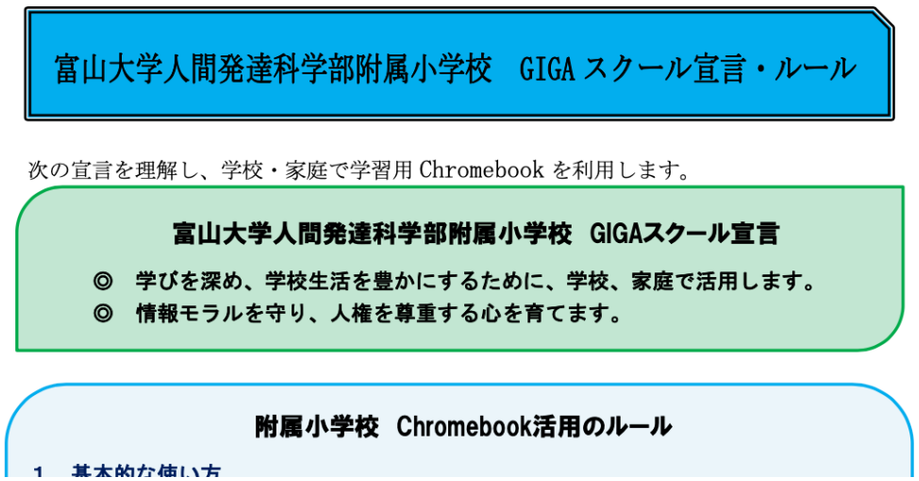
②日常的な活用

学校生活

・体温測定
・タイピング練習
・係活動
・委員会活動

家庭

・家庭学習
・長期休業中の課題
・オンライン授業



富山大学人間発達科学部附属小学校　GIGA スクール宣言・ルール

次の宣言を理解し、学校・家庭で学習用 Chromebook を利用します。

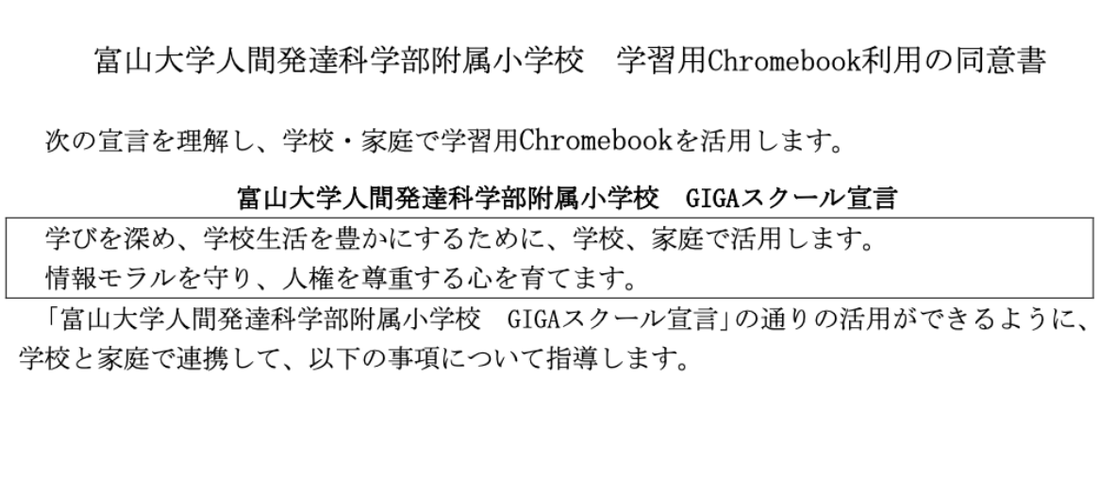
富山大学人間発達科学部附属小学校　GIGAスクール宣言

◎　学びを深め、学校生活を豊かにするために、学校、家庭で活用します。
◎　情報モラルを守り、人権を尊重する心を育てます。

附属小学校　Chromebook活用のルール

1　基本的な使い方

子供と一緒に考えて決めるルールやマナー
～デジタル・シティズンシップ～



富山大学人間発達科学部附属小学校　学習用Chromebook利用の同意書

次の宣言を理解し、学校・家庭で学習用Chromebookを活用します。

富山大学人間発達科学部附属小学校　GIGAスクール宣言

学びを深め、学校生活を豊かにするために、学校、家庭で活用します。
情報モラルを守り、人権を尊重する心を育てます。

「富山大学人間発達科学部附属小学校　GIGAスクール宣言」の通りの活用ができるように、学校と家庭で連携して、以下の事項について指導します。

家庭と連携した環境づくり

課外・家庭でも学び続ける環境づくり

③ 学習者のICTスキル

【基本】スキル・・・教員ICTスキルも

・タイピング（１００字／分 以上）

・ファイル名の変換（半角／全角の使い分けを含む）

・他者のデータの尊重（改ざん・削除厳禁　他者尊重の姿勢）

＊学校・クラス単位での約束

・文章作成、表計算、スライド作成ソフトの基本操作

・写真／動画の撮影スキル（水平垂直の確認、構図の基本知識）

★カリキュラムに組み込むことで、年間を通して、スキルを向上できるようにする。

普段の授業や課外の中で発揮・発展させる

④授業におけるICTの活用

教科等の目標達成に必要な学習活動

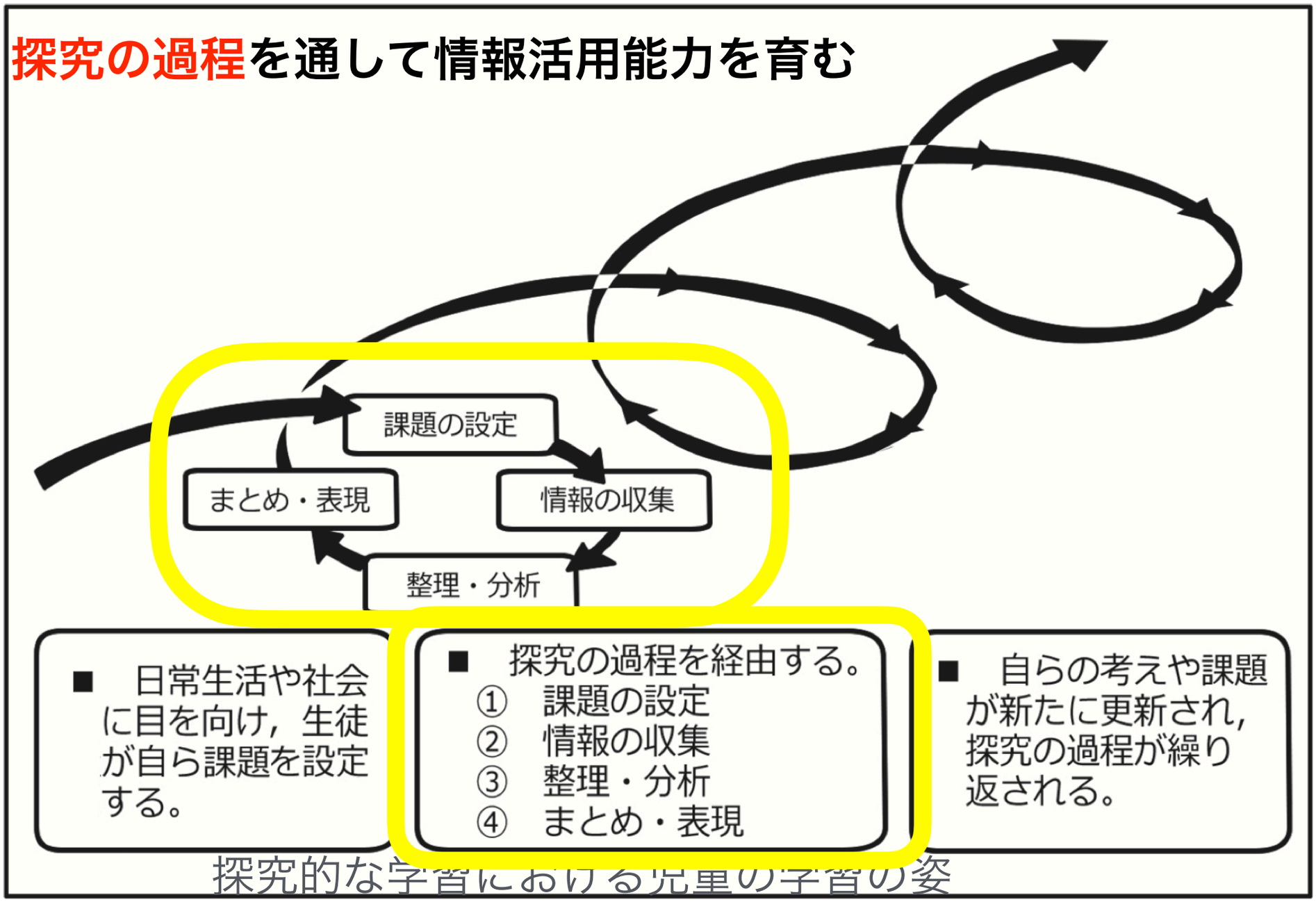
研究主題

学び続ける子供が育つ授業の創造

情報活用能力育成に関わる学習活動

探究的な学習のための学習過程

④授業におけるICTの活用



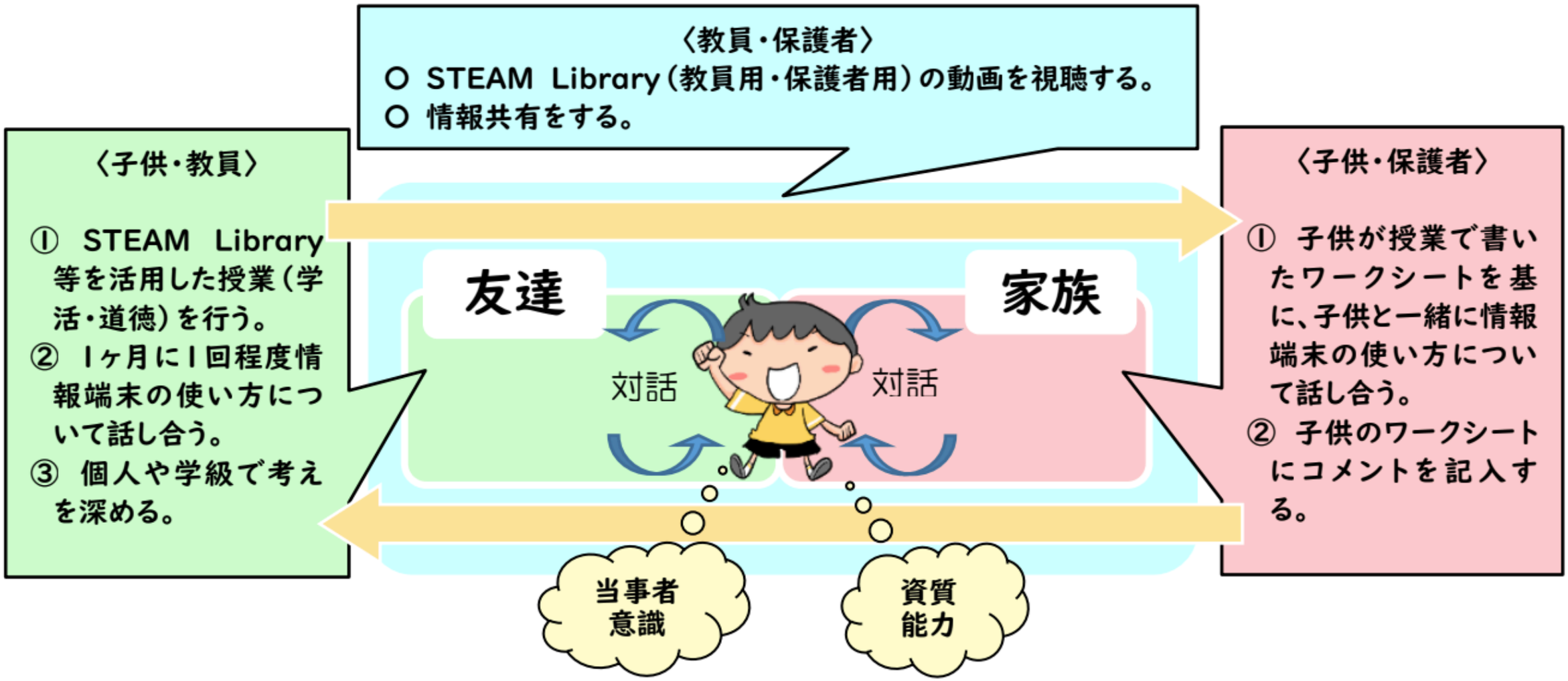
探究的な学習：問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく

汎用の学習過程でICT活用

⑤デジタル・シティズンシップ教育

ねらい　子供たち自らが当事者意識をもち、自分たちで決めた約束をもとに、情報端末を正しく学習で活用する心を育む。

1　STEAM Library を活用した授業(学活・道徳)を行う
2　各学級で情報端末の使い方について話し合う
3　便り等を活用して、保護者と情報を共有する



１　本校のICT環境と取り組み
～校務と学級経営に着目して～

２　GIGA時代における子供が学び続ける環境づくり～社会科の実践より～

３　これからの授業を考える
これまでの授業×ICT＝これからの授業

社会科の実践より

富山大学教育学部附属小学校

社会科，地理歴史科，公民科における学習過程のイメージ

課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り

主な学習過程の例

●学習課題を設定する ・社会的事象等を知る ・気付きや疑問を出し合う ・課題意識を醸成する ・学習課題を設定する	●課題解決の見通しを持つ ・予想や仮説を立てる ・調査方法，追究方法を吟味する ・学習計画を立てる	●予想や仮説の検証に向けて調べる ・学校外での観察や調査などを通して調べる ・様々な種類の資料を活用して調べる ・他の児童生徒と情報を交換する	●社会的事象等の意味や意義，特色や相互の関連を考察する ・多面的・多角的に考察する ・話し合う（討論等） ●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する	●考察したことや構想したことをまとめる ・学習課題を振り返って結論をまとめる ・結論について他の児童生徒と話し合う ・学習課題についてレポートなどにまとめる	●学習を振り返って考察する ・自分の調べ方や学び方結果を振り返る ・学習成果を学校外の他者に伝える ・新たな問い（課題）を見出したり追究したりする

主な評価とその場面の例

知識・技能

主として事実等に関わる知識の習得

主として概念等に関わる知識の習得

事実や概念等に関わる知識の再認識

○情報を集める	○情報を読み取る	○情報をまとめる
・調査活動を通して ・諸資料を通して ・情報手段の特性や情報の正しさに留意して　等	・情報全体の傾向性を踏まえて ・必要な情報を選んで ・複数の情報を見比べたり結び付けたりして ・資料の特性に留意して　等	・基礎資料として ・分類・整理して ・相手意識を持って分かりやすさに留意して　等

思考・判断・表現

「社会的な見方・考え方」を用いて
②社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する
③考察したことや構想したことを説明する
④考察したことや構想したことを基に議論する

主体的に学習に取り組む態度

・主体的に調べ分かろうとして
・問いや追究の見通しを持って
・他者と協働して
・よりよい社会を目指して
・学んだことの意味に気付いて
・学んだことを社会生活に生かそうとして

社会科の資質・能力社会的事象について調べまとめる技能

→教科の本質に向かうICT活用

GIGAスクール構想のもとでの 小学校社会科の指導について （文部科学省）

ICTを適切かつ効果的に活用していくために～まずは～

社会科の主な学習過程×主なICT活用場面例

・情報を収集する**場面で**　←①

・収集した情報を整理する**場面で**　←②

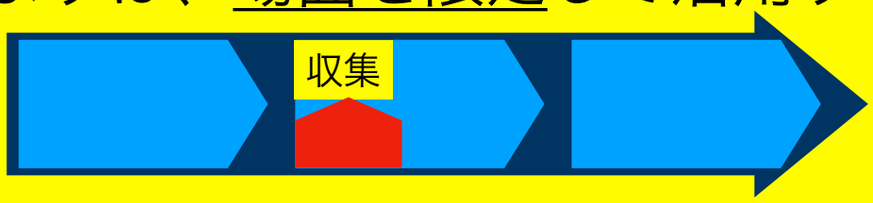
・収集した情報を基に、話し合う**場面で**　←①②③

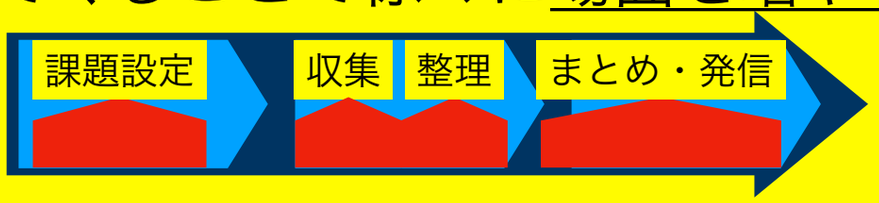
・吟味した情報をまとめ・発信する**場面で**←①②③

評価
情報を収集する技能：①
情報を読みとる技能：②
情報をまとめる技能：③

汎用的な活用場面でICT活用

＊まずは、場面を限定して活用する　慣れてくることで徐々に場面を増やす





①　第４学年「人々の健康や生活環境を支える事業」

育成を目指す資質・能力

　富山市上下水道局について、供給のしくみや経路、人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図やインターネット等の資料で調べたりしてまとめ、富山市上下水道局の様子を捉え、水道局が果たす役割を考え、表現することを通して、富山市上下水道局は、自然条件を活かし、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、富山市民の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに自分たちに協力できることを考えようとする態度を養う。

ICT活用のポイント

　子供一人一人が問題意識をもち、問題解決の見通しをもった後、必要な情報を収集したり、収集した情報を読み取ったり、読み取った情報を分類・整理して話し合ったりする際にICT端末を活用することで、学習の幅を広げることができる。

単元の学習過程と主なICT活用場面

①　第４学年「人々の健康や生活環境を支える事業」　主なICT活用場面

学習問題をつかむ　課題設定

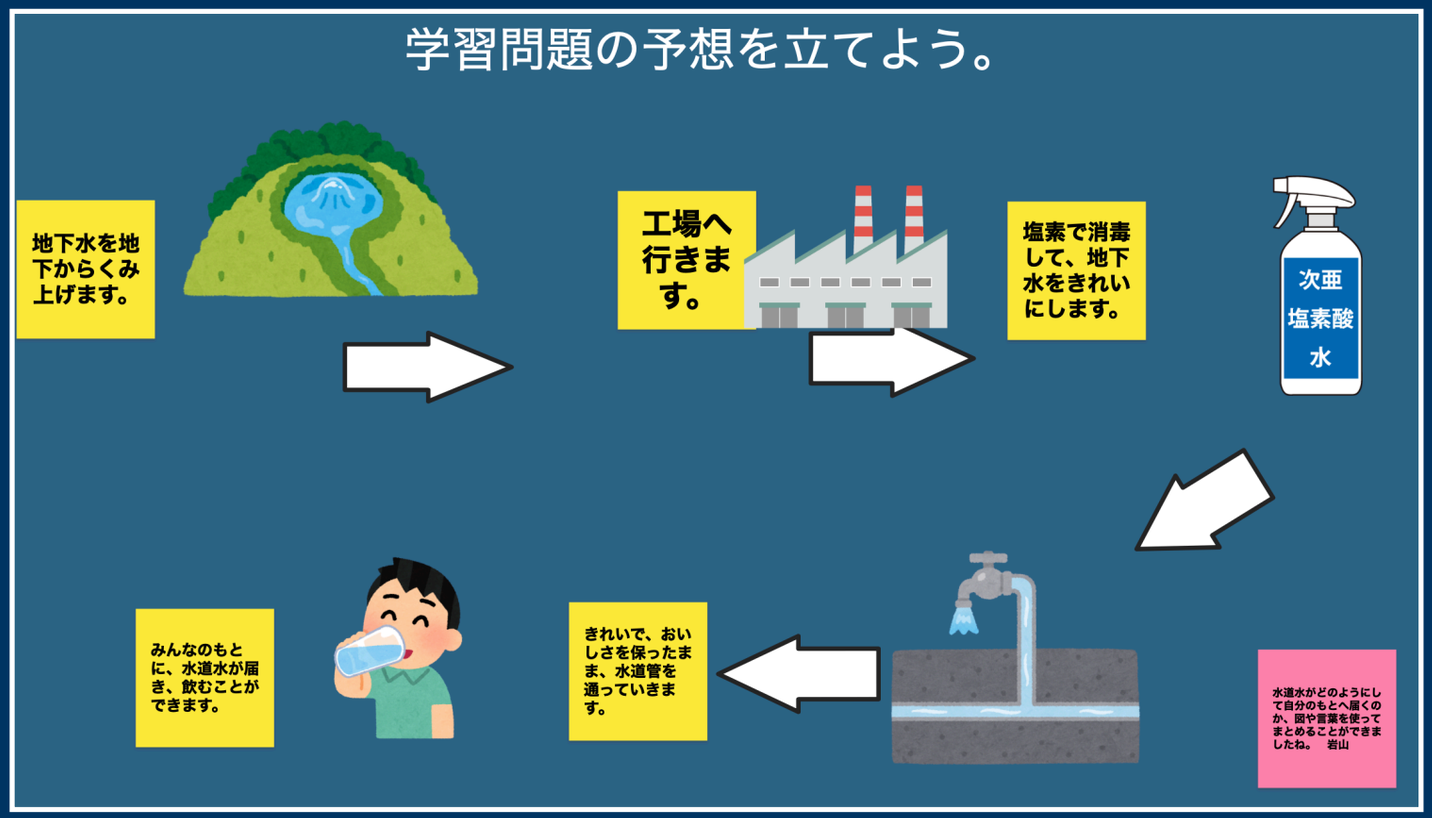
学習問題を追究する　収集　整理する

まとめる　まとめ・発信する

保存・共有

【課題解決の見通しをもつために、ICT端末を活用し、情報を整理する場面】

　子供は、学習問題「水道水は、どこからきて、どのような工夫できれいにされ、届けられるのだろう」をつくった。そして、この学習問題に対する予想を言葉や図等を用いてJamboardに整理した。



ICT活用のメリット

・子供は、イラストや付箋を用いて考えを表現することができる。
・その子なりの学びの地図が出来上がり、子供は主体的に事象に関わることができる。
・教師にとって、評価資料となる。

①　第４学年「人々の健康や生活環境を支える事業」　主なICT活用場面

学習問題をつかむ　課題設定

学習問題を追究する　収集　整理する

まとめる　まとめ・発信する

保存・共有

【ICT端末を活用し、情報を収集し、収集した情報を整理する場面】

子供は、見学・調査したり地図やインターネット等の資料で調べたりして、必要な情報を集め、学んだことをJamboardに記録していく。

ICT活用のメリット

・子供は、クラウドに板書や様々な資料がアップされていることで、家庭でも学び続けることができる。教師は、その子らしい学びを保障することができる。

・教師にとって、評価資料となる。

①　第４学年「人々の健康や生活環境を支える事業」　主なICT活用場面

学習問題をつかむ　課題設定

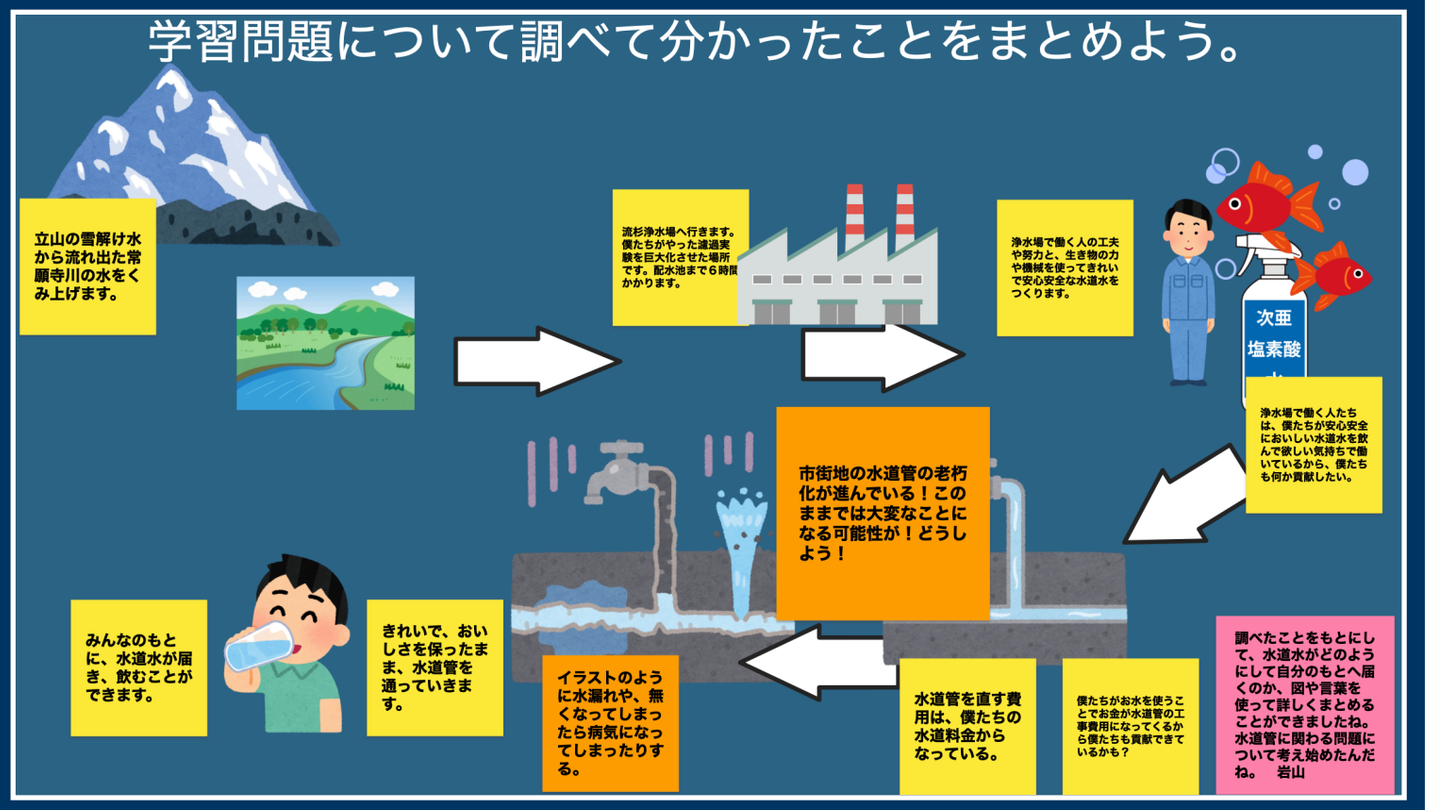
学習問題を追究する　収集　整理する

まとめる　まとめ・発信する

保存・共有

【ICT端末を活用し、学習成果を他者に伝える場面】

　子供は、どのようにして安心安全な水道水が自分たちの元へ届くのか、資源を有効利用するためにどんなことをしていけばよいのかについて、まとめたことを家族にプレゼンした。



ICT活用のメリット

- 子供は、学習したことを他者に分かりやすく伝えることができる。
- 子供は、予想とまとめのスライドを比較することで、自らの変容や高まりを実感することができる。
- 教師にとって、評価資料となる。

１　本校のICT環境と取り組み
～校務と学級経営に着目して～

２　GIGA時代における子供が学び続ける環境づくり～社会科の実践より～

３　これからの授業を考える
これまでの授業×ICT＝これからの授業

これまでの授業×学びとるための文房具としてのICT

- 学習の基礎基本、学習方法の習得、一般的な学習過程。
- ICTは子供が分かるように教師が教えるための道具。
  →従来の教育に無理なく入っており、成果もある。
- 教師は、教える役割。
- 子供は教師の話を聞き、板書をノートに書き取ることが中心。
  →主に教科書のみ活用。
- 関係ない時端末は「画面ロック」
- 教師だけが、子供の学びをモニタリングできる。

- 日常的な活用。
- 授業における基本的な活用。

→例　紙やノート、鉛筆の代わりに端末を使う。

板書の代わりに、端末を使う。（教員、児童）
スライドソフトを活用し、プレゼンテーションする。
クラウドを普段使いする。
テストや課題、アンケートに端末を活用する。

- 一人一台端末。いつでもどこでも活用できるもの。
- オンラインでつながることができるもの。
- 友達と学びを共有できるもの。（成果物だけでなく、学習活動も共有）
- いつどこで活用するのかの決定権は子供にある。

これからの授業のスタンダード

- **学習の主導権は子供。教師は、見守り・支援する役割へ**
- **ICTによる「つながる環境」での授業**

  クラウド活用前提　時と場所を選ばない学び方

  教科書やデジタル教科書等とインターネットの併用

  ノートと端末の併用（紙かデジタルかではない）

  子供が学びとるための道具

  →これらが前提の授業デザインを

- **学習指導要領の視点から授業を分析する**

  子供の「見取り」と「形成的評価の在り方」、多様性の尊重

  →ICTは学習指導要領のねらいを実現するための道具

- **教員が慣れること、日常にICTを入れた生活を**
- **キーボード入力の練習や情報モラル教育の充実**

○　情報活用能力の育成

- 学習の基盤となる資質・能力
- 汎用的な探究の過程を通して系統的に育む

○　教科の本質につながるICT活用

- 子供が情報活用能力を発揮し、各教科の資質・能力の質が向上する活用場面や方法を探る（クラウド活用前提）
- ICTではなく、学習指導要領の視点から授業分析（どのような資質・能力が身に付いたのか等）

○　これからの授業～教員研修の充実～

- 学校生活や学ぶために必要な文房具であるICTの活用を、子供が決められる環境づくり
- 教師の役割と授業分析の仕方を見直す
- 教員が日常生活でICT活用の有用感を実感する

参考資料

- 岩山直樹　「実践記録 第４学年『わたしたちの生活と富山市の水道水』
- 後藤　芳文、伊藤　史織、登本　洋子「学びの技 １４歳からの探究・論文・プレゼンテーション」玉川大学出版部、2014。
- 社会科教育編集部「ICT×社会　GIGAスクールに対応した1人１台端末の授業づくり　小学校・中学校　第２章　『４年人々の健康や生活環境を支える事業　自己調整学習を支えるICT活用～学びの地図と学びの記録～　岩山直樹』　明治図書、2021。
- 高橋　純　「はじめての授業のデジタルトランスフォーメーション」東洋館出版社、2021。
- 中川　一史、赤堀 侃司　「GIGAスクール時代の学びを拓く!PC1人1台授業スタートブック」ぎょうせい、2021。
- 宗實　直樹　関西学院初等部研修委員会　研修通信vol４、2021。
- 文部科学省　「GIGAスクール構想の実現へ」
- 文部科学省　「小学校学習指導要領解説総則編」東洋館出版社、2018。
- 文部科学省　「情報活用能力の育成」
- 文部科学省　「小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」東洋館出版社、2018。
- 文部科学省　「GIGAスクール構想のもとでの 小学校社会科の指導について」
- 文部科学省　「GIGAスクール構想のもとでの 国語科の指導について」
- 「令和３年度学校教育の情報科指導者養成研修」　講義資料